

福生市 市政世論調査 報告書

平成4年3月
福生市



市民憲章

美しく連なる山なみを望み、しづかに流れる多摩川のもと、雑木林と桑畠の武蔵野台地にひらけた福生市は、多くの人たちのたゆみない努力によって発展をつづけています。

私たち市民は、この地をふるさととして愛し、平和を願い、いきいきとした市民のまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

1. 私たちは 健康な心と体をつくり 充実した 豊かな日々をおくりましょう。
1. 私たちは 老人を敬い 子供の健やかな成長につとめ 明るい家庭をつくりましょう。
1. 私たちは 自然をたいせつにし 花や木を育て 美しい緑のまちをつくりましょう。
1. 私たちは 教養を高め 情操を養い 文化の薫るまちをつくりましょう。
1. 私たちは たがいに親しみ 助けあい みんなが幸せになるまちをつくりましょう。

福生市 市政世論調査
報告書

平成4年3月
福生市

はじめに

福生市は、市制20周年を経て、21世紀に向かって福生市基本構想に定めた都市像「輝く街福生」の実現を目指して着々と歩みをすすめております。

今や時代は、これまで人類が体験したことのない高齢化や地球環境の保全といった課題を抱え、その解決に向かって世界規模、地球規模での対応が求められております。

また、ごく身近な市政の課題としても、ゴミ処理のための施設の拡充や処分場の確保、そのための分別収集やリサイクルの徹底などの課題が出現しており、あるいは長寿社会の到来と労働時間の短縮とともに余暇利用のための施策の充実が求められるなど、福生市民のニーズも大きく変化してきております。

市民と共に市政を進めるためには、市政に関する市民の意識、要望等を広く把握することが大変重要であります。

このため、福生市では、定期的に市政世論調査を行い、総合計画の推進及び当面する市政課題の解決のための参考資料にすることとしております。平成3年度は、その調査の年に当たり、ここに調査書として、調査結果をまとめることができました。

この調査に御協力をいただきました市民の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも市政に対し御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成4年3月

福生市長 石川彌八郎